

さっぽろっ子「学び」のススメ

さっぽろっ子「学び」のススメは、子どもと家庭、子どもと学校、学校と家庭をつなぐとともに、子どもの権利を大切にするものです。



子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。大人は子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。学校で、家庭で、子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。

学校も、家庭も、まほうのかいわで習慣づくり



札幌市教育委員会

【さっぽろっ子「学び」のススメ幼児版】



【さっぽろっ子「学び」のススメ】



【さっぽろっ子ICT活用のススメ】



【さっぽろっ子小中一貫したつながりのススメ】



まほうのかいわ を合言葉に「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくり!

連携

学校



家庭



大
切
な
5
つ
の
ポ
イ
ント

意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばします。

「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようにします。

自分の「伸び」を実感して、新たな目標をもてるようにします。

生活を自らコントロールする力を育みます。

難しいことにも挑戦する意欲を伸ばします。

札幌市は、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに向けて、「子どもの声を聴く」ことを大切に、学校教育を推進していきます。

～子どもの声を聴くために～

子どもの気持ちを「受け止める」ことから始めませんか。
「よかったら話してくれないかな? 思っていることを聞くよ。」
「どんな調子かな? あなたと話がしたいな。」
「〇〇については、どう?」「いつでも聞くからね。」



学んだことを一緒に振り返りましょう。

ま
ほう

方法を一緒に考えましょう。

子どもが自分で決めることを **促す** ためには?

「～について、目指したいことは何?」
「～を頑張ったら、どんな自分になれると思う?」
「自分で決めることが大切。自分で決めるまで待ってるよ。」
「～しなさい」メッセージより、「背中を押す」メッセージを!



の
伸びを認め、ほめましょう。

子どもの伸びを **認める** ためには?

「漢字をこんなに書けるようになっていて、感心したよ。」
「毎日、縄跳びを頑張っている姿が見られて、うれしいな。」
「お手伝いをしてくれて、ありがとう。」
「YOU」メッセージより、「I」メッセージを!

※「I」メッセージ=「私」を主語にしたメッセージ



かい
改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。

子どもの継続した取組を **支える** ためには?

「学校でどんな勉強をしてきたの?一緒に振り返ってみようか。」
「休みの日は、一緒にストレッチやウォーキングをしてみようか。」
「早起きできるようになる方法を一緒に考えてみようか。」
「～続けなさい」メッセージより、「一緒に」メッセージを!



わ
わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。

これからの一年間、家でがんばりたいことは…

一年間を振り返って、励ましの言葉



さっぽろっ子 ICT活用のススメ



1人1台端末を**文房具**として、**子どもが主体的に活用**します

子どもが必要性を主体的に判断しながら1人1台端末を活用します。子どもの「学ぶ力」の育成を目指し、学校で、家庭で、適切かつ効果的な端末の活用を促していきましょう。

「学ぶ力」の育成

「課題探究的な学習」

の推進

多様な他者との対話をはじめ、思考が深まる学びの場面や、考えをまとめ発表する場面等での活用を一層進めます。

個別最適な学び

子ども一人一人の主体性

協働的な学び

「自治的な活動」

の推進

端末を活用して、生活上の課題を見付け、解決に向けて主体的、実践的に取り組む活動を進めます。

「情報活用能力」の育成

日常的にICTの活用を促すことで、情報を適切に収集・整理・分析・発信等ができる力を育成します。

家庭での運動習慣づくりによる「**健やかな体**」を育成します。

登校できない場合でも先生や友達とつながることで「**豊かな心**」を育成します。

ICT活用の **まほう**の**かいわ**で

学校と家庭のつながりを大切に、互いが同じ目線に立って連携・協働しながら、子どもを見守り、育みます。



ICT活用の まほうのかいわ

ICT活用も習慣づくりが大切です



家庭



学校

大
切
な
5
つ
の
ポ
イ
ン
ト

協働的な学びと
個別最適な学びの充実

ICTを活用した学習が、多様な他者と協働しながら考えを深める学びや、子どもにとって自分にふさわしい学びとなっているかどうか、家庭で話題にしてみましょう。

ま 学びにつなげる

安心・安全で
効果的な活用

使用時間など健康に配慮した使い方や、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度（情報モラル）を身に付けられるよう、子どもと話し合みましょう。

ほう 方法を考える

自己調整に生かす
学習履歴

端末を活用した学びの記録を子どもと一緒に振り返りながら、伸びを認めるとともに、つまづいているところがあれば、どのように改善を図っていくのか、一緒に考えましょう。

の 残して振り返る

ICTの
特性や強みを生かす

必要な情報を幅広く集め、分析したり、意見の即時共有を図ったりするなど、ICTの特性や強みを生かすことで、子どもが疑問や課題を自ら解決していけるよう促しましょう。

かい 解決する

主体的に学習に
取り組む態度の育成

ICTを活用して、子どもが試行錯誤しながら粘り強く取り組み、「分かる・できる・楽しい」学びにつなげていけるよう、学校と家庭の連携・協働を深めていきましょう。

わ 分かる・できる・楽しい

学校では主にこんな端末を使用しています。

クロームブック
機種名：**Chromebook**
OS名：Google chrome OS端末



CPU：Intel(R) Celeron(R)
N4020 CPU@1.10GHz

メモリ：4 GB
画面サイズ：11.6型
キーボード：有



年度初めに、学校から配付される書類等は保護者と子どもが一緒に確認をしましょう。

端末を家庭に持ち帰っての活用も行います。ネットワーク環境の整備等の確認をしていきましょう。



札幌市ホームページにも掲載しています。
「ICTを活用した教育の推進」

- 1人1台端末活用のガイドライン【札幌市版】
- 1人1台端末活用リーフレット
- 1人1台端末活用の基本的なルール
- アカウント、端末を安心・安全に使うためのチェックポイント（確認書）
- 札幌市立小中学校等における端末貸与規程
- 札幌市立小中学校等端末貸与申請兼同意書
- 家庭のWi-Fiに接続する方法



さっぽろっ子 小中一貫したつながりのススメ



「小中一貫した教育」は、札幌らしい「教育のススメ方」です。

小学校と中学校が互いにつながり、学び合いながら学校・家庭・地域が互いにつながり、同じ目線に立ちながら途切れることなく、全ての子どもに寄り添い、見守り、育みます。

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できるように。



学校・家庭・地域のつながりの中で、連続性をもって子どもを育みます。

さっぽろっ子「学び」のススメによる一貫した習慣づくり

9年間の系統性・連続性のある教育を実現し、子どもの知・徳・体の調和のとれた育ちの一層の充実を図ります。

9年間の**学び**をつなげます

分かる・できる・楽しい授業による連続性のある教育の推進

子どもの**育ち**をつなげます

小・中の指導のよさを取り入れた切れ目のない子どもの育ちの支援

四つの視点から札幌らしい教育を進めます

互いの顔の見える関係づくりによる小中の教職員の連携の強化

目指す子どもの姿の共有などによる地域とともにある学校づくりの推進

小中の**教職員**がつながります

学校・家庭・地域がつながります

札幌市では、令和2年2月に「札幌市小中一貫した教育基本方針」を策定しました。詳しくはこちらを御覧ください。



https://www.city.sapporo.jp/kyoku/sidou/dokuments/simukyokugakko_setihoshin.pdf

義務教育学校では、校舎も含めて一つの学校となることで、「小中一貫した教育」を推進しやすい環境が整い、日常的に幅広い異年齢による学び合いや関わり合いが生まれます。

- 令和5年度 義務教育学校福移学園開校
- 令和7年度 義務教育学校定山溪学園開校
- 令和9年度 義務教育学校真駒内学園開校予定
- 令和11年度 厚別南・青葉地区義務教育学校開校予定

詳しくは裏面をご覧ください



https://www.city.sapporo.jp/kyoku/sidou/dokuments/simukyokugakko_setihoshin.pdf

札幌市における義務教育学校の設置方針

札幌らしいコミュニティ・スクール

詳しくは「札幌らしい
コミュニティ・スクール」
リーフレットをご覧ください。



<https://www.city.sapporo.jp/kyokukuz-top/communityschool/sappora.html>

目的…学校と保護者や地域が目指す子ども像を共有して、一緒に地域の子どもの育てること

札幌
らしさ

- ①「小中一貫した教育」と連動した仕組みとする
- ②「さっぽろっ子自治的な活動」と学校運営協議会をつなげることで、「子どもの声」を学校運営に反映する

さっぽろっ子自治的な活動

SAPPORO さっぽろっ子宣言

プラスのまほう

P Positive ポジティブ
前向きな考えで

L Love ラブ
互いを大切に

U Unique ユニーク
個性を認め合い

S Smile スマイル
笑顔あふれるさっぽろに

思いや願い

つながる

応援

コミュニティ・スクールって？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことを言います。「小中一貫した教育」の推進の四つの視点の一つである「家庭や地域との関わり」の一層の充実を図るために、コミュニティ・スクールの導入を進めていきます。そして、学校が家庭や地域と一体となって、子どもの育ちを継続して支えていきます。



学校運営協議会

「小中一貫した教育」グランドデザインを踏まえ、子ども像や理念を共有し、必要な取組等を熟議する場



熟議

※多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成していくこと
(文部科学省参照)

地域の中の学校 (パートナー校)



地域学校協働活動推進員



地域学校協働活動

学校運営協議会で熟議された (例) キャリア教育における職場体験活動
必要な取組等を形にする活動 安全・安心に係る取組 (防災教育)
放課後学習支援 等

「さっぽろっ子自治的な活動」って？

「さっぽろっ子自治的な活動」は、子どもたちが、よりよい生活に向けて多様な人と協働しながら思いや願いを実現する取組です。そして、子どもの手による活動を通して、子ども一人一人の自己肯定感を醸成していきます。



コミュニティ・スクールは、学校・家庭・地域がそれぞれの立場について相互理解を図りながら、学校運営協議会の対等な立場である関係者間による丁寧な合意形成を大切に、ゆっくり・じっくり育てていくことで、持続可能となります。

小さく始めて、大きく育てる

※コミュニティ・スクールは、令和6年度から令和10年度にかけて準備が整った学校から順次導入しています。(市立小中学校)
※令和8年度CS導入74%(231園・校、314園・校)